

第 二 題 言

高森線のトレッツスルピア

高森線の橋梁トレッツスルピアの工事は先年鐵道省で施工した山陰線餘部（アマルベ）橋梁のトレッツスルピア工事に比較して新機軸を認められる、特にケーブルを所謂那波式の操重車を以て移動して組立てる工法は最も大膽なるもので、現場員の頭と腕とが如何に科學的に近代の工事を左右してあるかを立證するものである。

表彰せられた信濃川工事

我國の河川工事として内外に最も知名のものは信野川分水工事である特に本工事中の自在堰工事は特種設計になる世界有数のものである。本年十月七日賞勳局より本工事關係の主要なる技術家に授賞された事は、從來兎角埋れ勝であつた工事關係者をして一層自重せしむべき好例として世人の最も満足する處である。

工事としては稍舊聞なるも此機會に自在堰の小景を紹介する事は、未だ實地を見ざる人の爲めに多少の印象を與へんが爲である。

丸の内と箱根の道路

都市の美觀はビルデングや橋梁のみで満足すべきでなく、日本人には最も忘れ勝ちな道路こそ文化設備の第一線に位すべきである、近く竣工した行幸道路の美觀は實に東洋に冠たるものであるが、工事としても濠中を埋立て完全に美裝するの苦心は容易のものでない。

箱根の國道改修工事は之を稍趣を異にするが、大震災の被害に對する復舊を改良を兼ねたもので急速を要するの苦心は前者以上であつたかも知れない。

傾城山トンネル工事

傾城山トンネルの改修工事はトンネルの改良工事としては最も大規模の一例である。

總て工事は他人のやつたものを改修する場合に案外の好研究を得るものであるが、下に汽車を通しながら煉瓦捲の上の掘鑿を進めるのであるから工事設備に於て多大の參考となるものがあると思はれる。其點は猶ほ號を改めて詳報するつもりである。

工事成効の一論

工事畫報創刊以來の理想として合理的の工法經濟的の施工法、等を強調する事に努めてをるが、畫報的に事實の斷片を傳ふるに過ぎなかつた本號及び次號より工事成功法の重要策として合理的の見積方法を紹介する事にした。筆者は篤志の經驗家である、工事關係者に取りては實に多大の共鳴を促すものと思ふ。